

紫外線や雨風、塩害に強い、高耐候性トップコート材。

Uniceratop

ユニセラトップ

外壁トップコート材

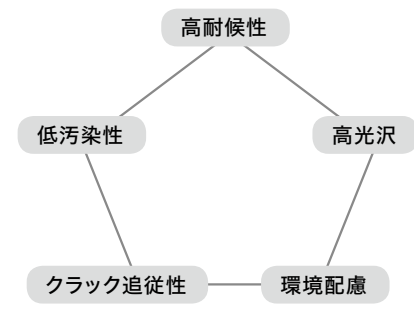


ユニセラトップの特徴

高耐候性ハイブリッドコーティング材

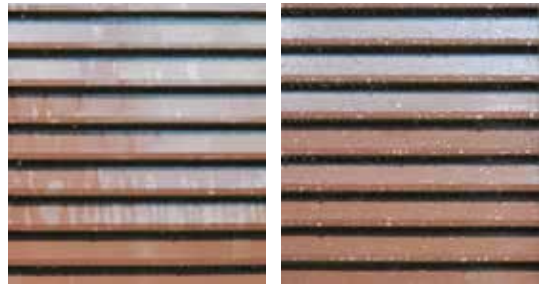
ユニセラトップは、無機・有機の特性を備えたハイブリッドコーティング材です。無機の優れた高耐候性・低汚染性・耐熱不燃性・高硬度に加え、有機のフレキシブルな柔軟性を併せ持つ、紫外線や雨、風に強いトップコート材です。

※期待耐候年数20年(メンテナンス標準サイクル約16年)



雨水で汚れが落ちる親水性

ユニセラトップは、主成分であるオルガノポリシロキサンにより、表面に親水性のある塗膜を形成。この親水性により雨水が塗膜表面に広がり、外壁の汚れを浮かび上がらせて洗い流します。



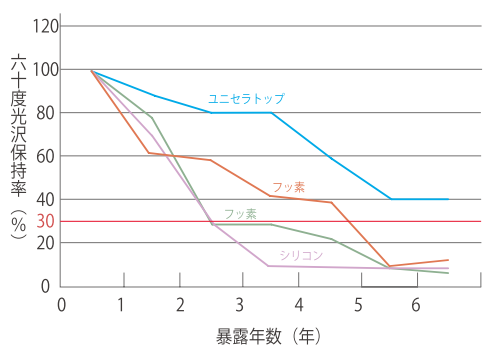
ユニセラトップ

撥水塗料

長期間の光沢保持を実証

耐用年数が長く、紫外線や雨、風、塩害に強いことがユニセラトップの最大の特徴。塗料の耐用年数を検証する試験として最も重要な項目が光沢耐候年数です。ユニセラトップは7年以上の野外暴露試験で塗膜に強い紫外線を与え続けても高い光沢を維持。一般的に光沢保持率が30%を下回ると塗り替えのサインとなりますが、ユニセラトップはフッ素樹脂塗装と比

光沢耐候年数(表1)



防藻・防カビ性

水性塗料は、一般的に藻やカビが発生しやすい材料ですが、ユニセラトップは防藻・防カビ性能を標準付与しています。



ユニセラトップ



有機塗料

優れた柔軟性

独自のハイブリッド技術により、従来の無機トップコート材では得られない有機トップコート材のような柔軟性を備えています。



ユニセラトップ



従来の無機塗料

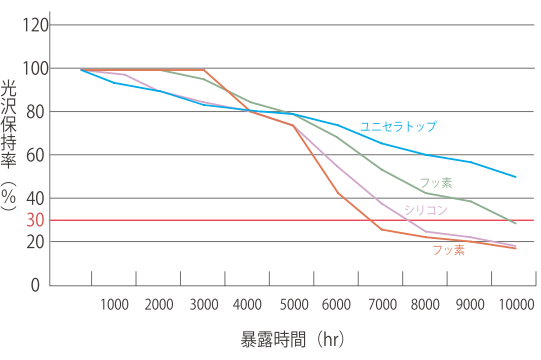
安心の環境性

プライマーは弱溶剤、トップコートは水系と弱溶剤のため、臭気が柔らかく居住者にも配慮。また健康に悪影響を及ぼす有害な原材料を一切使用せず、ホルムアルデヒド放散量も抑えられたトップコート材です。

較しても非常に高い耐候性を持つことがわかります(表1)。

また、本州の3～5倍の紫外線による劣化促進率がある沖縄県宮古島の厳しい気象条件の中、10年間暴露試験を実施(表2)。フッ素樹脂に比べ、6年経過時にユニセラトップは光沢保持率40%以上を保持し白亜化も確認されておりません。

促進耐候試験(表2)



白亜化を抑制

ユニセラトップは色褪せや光沢の低下、塗膜表面の白亜化が起こりにくい塗料です。



ユニセラトップ



水性アクリル塗料

耐熱・不燃性

ユニセラトップは不燃性のため、塗った面が燃えにくく、火災時の延焼を防止。独自の燃焼試験により耐熱性・不燃性に問題がないことを確認しております。



ユニセラトップ



フッ素樹脂塗料